



令和元年 12月25日(水)
練馬区立開進第四小学校
校長 河崎 晃二

開四小だよ

冬休み号

1, 1, 5, 8

校長 河崎 晃二

今年5月に年号が平成から令和に代わり、皇室の行事が数多く行われました。その最初の年「令和元年」も終わろうとしています。本日無事に2学期の終業式を迎えることができましたのも、保護者や地域の皆様の御協力のお陰だと思っております。ありがとうございました。

＊

さて、話は変わりますが、5, 6年ほど前に親子がタブレットを操作していて、「1, 1, 5, 8を \times を \div を用いて10にしましょう。」という問題が出てくるCMがありました。これは、「テンパズル」と言いますが、なぜ、このCMのことを思い出したのかというと、将棋界で話題の藤井聡太君が、移動中に車のナンバーなど目についた数字で、この「テンパズル」をしていることを知ったからです。実は、私も子供の頃電車に乗ると、よく切符の4つの数字で10にすることをやっていました。最近はICカードを利用しているので、切符を買うことがなくなり、すっかりやらなくなりました。

ところで、この問題ですが結構難問です。CMでは、お父さんがインターネットで検索して答えを子供に教えていました。皆さんだったらどうするでしょうか。

- ① CMのように解き方を説明する。
- ② 励ます&最低限のヒントを与える。
- ③ 放っておく。

私なら、子供の様子を見て、まだ余力がありそうなら…③の「放っておく。」にします。また、完全にあきらめているならば…②の「励ます&最低限のヒントを与える。」にします。

なぜなら、「試行錯誤する楽しさ」を子供に身に付けてほしいからです。最近は効率的に結果をすぐに求める傾向があります。これも大切なことですが、物事をじっくり考えて行動することの大切さを忘れられているような気がします。試行錯誤するということは、これまでの知識や経験を一つ一つ思い浮かべ、つなぎ合わせていく作業を行っていくことです。つまり、考え方を身に付けていくこととなります。また、この試行錯誤を積み重ねていくことによって、算数に限らず将来困難に直面した時に自ら解決していく力になっていきます。

もう一つは、子供に「解けたときの喜び」を味わわせたいからです。これは、皆さんにも分かりますね。何かを頑張って、成功すればうれしいですし、苦勞して成功すればなおさらです。

この2つの楽しさを、子供にたっぷり経験させることをこれからも大切にしたいと考えています。

＊

明日から13日間の冬休みになります。この年末年始は、子供たちにとって家庭で過ごす時間が増えます。冬休みだからこそできることを各御家庭で実践してください。そして、新年には元氣な笑顔で学校に戻ってくることを願っております。どうぞ、よいお年をお迎えください。

